

令和5年度第2回学校運営協議会 議事録

校名	大阪府立久米田高等学校
校長名	若林 武志

開催日時	令和5年10月14日(土)10:00~12:00
開催場所	久米田高等学校 校長室
出席者(委員)	堂之本会長、田中委員、福井委員、逢阪委員、清水委員
出席者(学校)	若林校長、木下教頭、船越事務長、田戸首席、宮本首席、蔀教諭、堀込教諭
傍聴者	なし
協議資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和5年度第2回学校運営協議会レジメ</li> <li>・令和5年度学校経営計画及び学校評価</li> <li>・令和5年度(2023年度)久米田高等学校マネージメントシート</li> <li>・令和5年度第1回授業アンケート集計結果</li> <li>・令和6年度使用教科書採択一覧</li> </ul>
備考	

議題等(次第順)

- ・校長挨拶
- ・協議委員紹介及び事務局自己紹介
- ・資料確認
- ・令和5年度第2回学校運営協議会レジメ
- ・令和5年度学校経営計画及び学校評価
- ・令和5年度(2023年度)久米田高等学校マネージメントシート
- ・令和5年度第1回授業アンケート集計結果
- ・令和6年度使用教科書採択一覧

協議内容・承認事項等(意見の概要)

〈令和5年度学校経営計画進捗状況について〉

・学力向上では、進路指導研修、授業見学、学力生活実態調査などを実施。自主的な活動の推進では、部活動の一環として地域イベントに積極的に参加したり、部活動の大切さに関する講演を実施し、部活動入部率を高める努力をしている。安全で安心な学校づくりでは、交通安全講習・薬物乱用防止教室などの講演を複数実施している。個々の生徒が目的意識を明確に持った進路指導では、計画的な進路指導をめざして、夏期集中学習会と夏期講習を実施した。広報活動の充実では、学校見学会および外部での説明会を実施。また、ダンス部のテレビ出演などもかなり寄与している。また、NPOフレンドシップ(公務員編)、10月下旬には教員編を実施予定。学校の様子としては、部活動入部者は昨年度より少し減っているが、全体的に生徒は楽しく学校生活を過ごしている。

・職員の勤務軽減について、一斉定時退庁日が意識づいて来ている。普段の仕事については声掛けを含め、早く帰るよう促していく。

・昨年の進学実績は、府立高校ではトップクラスの上昇を見せている。目的意識を早めに持たせることが大事であり、目的意識を持てるような声掛けも重要である。

・夢設計「先輩に聞く」の講演会は、進路意識をもたせるためにはすごく良い取り組みである。卒業生に来てもらって話をしているので、すごく大切な機会、参加した人の評判はすごく良いことから、たくさんの人に参加していただけるような工夫をしてほしい。

・私学の無償化については、現時点では、公立高校よりも、公立中学校に影響が出て来つつある。高校3年間が無償であれば、中学校から私学に行こうという雰囲気が出て来ている。進路指導が行き詰まる可能性もあり、公立中学校の役割が変わってくるのではと懸念している。しかし、私学の無償化とはいえ、初期費用と定期代などが経済的に厳しい状況もある。その点では公立高校の存続はすごく大事なことであり、公立高校では広報活動に力を入れており、月に数回の訪問もあると聞いている。今後は、学校の魅力をいかに発信するかが重要になってきている。HP上でのブログは学校の情報発信の場として効果的である。

〈令和5年度久米田高等学校マネージメントシートについて〉

・生徒指導では、生徒のほとんどが落ち着いた身だしなみで登校している。岸和田少年サポートセンターとも連携しながら、薬物乱用防止教室を1年次に実施し、大麻などの薬物についての防止も十分に行っている。関わってしまうきっかけとして喫煙習慣の有無が関係していることがあるのではないかと。遅刻に関しては、昨年は増えていると話したが、コロナ禍の影響により、欠席へのハードルが下がっていることもある。祭礼による学校生活への影響はあまり見られない。教務については、コロナの5類以降で大きな行事変更はないが、インフルエンザの流行などで学年、教科担当で協力して補充授業を行っている。ICTではデジタル採点を提示されている。各教科で試行している。FAQなどをまとめていく。一人1台端末で生徒も慣れて生きており、アンケートなどの返信も早くなっている。進路については、希望の大学をめざしている割合としては大きな変化はなく、学校推薦型選抜で積極的に勉強している。9月に総合型選抜や看護などが本格的にスタートしている。共通テストの志願者数も昨年度と同様。学力生活実態調査結果では、本校はB3をめざす。模試は積極的に受けている。広報については、夏の学校見学会が8月末の平日開催でご迷惑をおかけした。秋の学校見学会や合同説明会も行っている。生徒会については、文化祭で、食品が復活した。野外ステージについては、ステージが古くなって来たことと職員の割当がかなり厳しくなったことから、安全確保の面で今年度は実施しなかった。次年度の野外ステージの実施については今後検討する。文化祭の準備についても生徒たちは頑張っていた。文化祭は例年より高いレベルで各クラス考えていた。学年の様子について、第一学年に関しては、挨拶する生徒が増えてきている、短縮期間での夏期学習会にもたくさん参加した。長期欠席者は今のところ出てきていない。しかしながら、コロナ、秋のインフルエンザが流行っているため、全員が揃うことが難しい。これから科目選択、進路選択などの時期で、11月には希望者や成績不振者の保護者懇談を実施予定。

〈令和5年度第1回授業アンケート結果(学校全体)について〉

・昨年度との比較では若干下がっている。生徒のコメントは教員に返却している。本校の生徒に合わせた対応が大事である。

〈令和6年度使用教科書の採択について〉

・指導書は電子化となり、とても高い。教科全体で、長いスパンで見、久米田の生徒に合うかを考えてもらいたい。単年度予算で買えるのか。特に英語などは必要だろう。

〈その他〉

・保護者の関心として、情報提供のあり方が一つのポイントになっている。一般的にどの学校も、保護者と一緒に進路先を決める家庭が多くなっている。うちの子が落ちこぼれたらどうするか？などの質問が多くなっている。不登校も増えている。学校は好きだが、行く気にならないとの声も聞く。

・クラブの入部率が、イメージより少し少ないように思う。

・中学生に久米田高校がすごく人気。行事も充実している。

・中学生が進路を決めている流れとしては、私学は12月の最後の懇談で決める。その時に公立も大体決める。公立を最終的に決めるのは2月。

・次年度の夏の学校説明会の時期については、8月26日が始業式の予定なので、それ以前ならありがたい。

次回の会議日程

日時	令和6年2月17日10:00~(予定)
会場	大阪府立久米田高等学校